令和８年１１月１３日

村上市長　高橋　邦芳　様

村上市総合計画審議会
会長　宍戸　邦久

第４次村上市総合計画の策定について（答申）

令和８年４月３０日付け村企第５６号で当審議会に諮問された第４次村上市総合計画の策定について、これまで慎重かつ活発に審議を重ねた結果、次のとおり答申します。

１　第４次村上市総合計画 基本構想（案）　　別紙１のとおり
２　第４次村上市総合計画 基本計画（案）　　別紙２のとおり

なお、計画の推進に当たっては、下記の事項に留意されることを望みます。

記

１　人口減少の現実を踏まえながらも、希望ある未来をつくること

人口減少という厳しい現実を的確に捉え、その影響に対応しつつ、その中にあっても地域の活力を維持し、新たな価値や可能性を生み出しながら、希望ある未来を示していく姿勢が重要です。

人口減少や担い手不足などに対応するとともに、将来に向けた本市の可能性を見いだし、挑戦を続けるまちづくりを進めることを望みます。

２　村上市が持つ強みや可能性を生かし、伸ばすこと

本市には、豊かな自然、長い歴史の中で育まれてきた文化や産業、人々の営みなど、多くの地域資源があります。

課題への対応に当たっては、本市が持つ強みや魅力にも目を向け、それらを生かし、さらに伸ばしていく視点を大切にしてください。これまで受け継がれてきた地域の価値を守り育てながら、新たな発想や取組と結び付けることで、本市ならではの魅力や価値を高め、未来へつないでいくことを期待します。

３　「つながり」を力に、多様な主体の共創と挑戦を進めること

これからのまちづくりにおいて大きな力となるのが、将来像にも掲げられた「つながり」です。

人と人、地域と地域、世代や分野を超えたつながりに加え、先人から受け継いできた歴史や文化、想いを過去から現在、未来へとつなぐこと、市内だけでなく市外の人や地域ともつながることなど、多様なつながりを広げていくことが重要です。

また、性別や年齢、立場などにかかわらず、一人ひとりが尊重され、それぞれの力を発揮できることが地域の活力につながるという視点を、特定の政策分野にとどめず、まちづくり全体を通じて持ち続けてください。

行政だけですべての課題に取り組むのではなく、市民、地域、団体、企業など多様な主体がそれぞれの力を生かして連携するとともに、政策分野の枠を超えた取組を進め、つながりを新たな挑戦へと結び付けることで、地域全体で未来をつくっていくことを望みます。

４　市域全体で安心して暮らし続けられるまちをつくること

本市は広大な市域の中に、それぞれ異なる特性を持つ地域や集落を有しています。

人口減少が進む中にあっても、中心部だけでなく、市内のどこに住んでいても安心して暮らし続けることができるよう、地域の特性や実情を踏まえながら、市域全体の暮らしを支えていく視点を持ち続けてください。

地域の特性や生活圏に応じて、暮らしに必要な機能を持続可能な形で確保するとともに、道路や公共交通、デジタルなど多様な手段によって、拠点と地域、人と必要なサービスをつなぎ、それぞれの地域の暮らしを未来へつないでいくことを望みます。

５　市民と計画を共有し、実行・検証・改善を続けること

本計画が行政だけの計画となることなく、市民一人ひとりに分かりやすく伝わり、自らの暮らしや地域の未来に関わる計画として共有されることが重要です。

計画の内容や取組状況を広く分かりやすく発信するとともに、市民との対話を大切にし、市民一人ひとりがそれぞれの立場でまちづくりに関わることができる環境をつくりながら、市民と行政がともに考え、ともに取り組むまちづくりを進めてください。

また、計画は策定することが目的ではなく、掲げた将来像の実現に向けて着実に実行していくことが重要です。成果指標等を活用して取組の進捗や成果を継続的に検証するとともに、検証によって明らかになった課題や社会情勢、市民ニーズの変化を施策の改善や新たな取組につなげるなど、実効性のある進行管理に努めてください。

６　第４次村上市総合計画の推進に向けて

第４次村上市総合計画に掲げる将来像「つながりと挑戦で、未来をつくるまち村上」には、これまで大切にしてきた想いを受け継ぎながら、人と地域の力を結集し、希望ある未来をともにつくり上げていく想いが込められています。

本計画が、市民と行政が目指す未来を共有する道標となり、多様な主体による「つながり」と新たな「挑戦」を通じて、市民一人ひとりが将来に希望を持ち、安心して暮らし続けられる活力ある村上市の実現につながることを期待します。